

東海地震の予知の現状 12月21日

11月19日に、台風26号が発生し、11月下旬の台風にしては、945hpaと大きな勢力になりました。フィリピンの東沖まで北上した後、東海地方に弧状の雲を通過させましたが、その後東進してゆき、大きな影響は与えなかったようです。

8月から11月までの大きな台風が東海地震の引き金になる可能性が非常に高いのではないかと
思って、警鐘活動を続けてきましたが、その予想はずれました。
このことを何度も警鐘して、お騒がせいたしましたこととお詫び申し上げます。

エルニーニョの影響で、その後は暖冬が続いていましたが、12月の17日から20日にかけて
-24度線が関西まで南下し、日本中が冷え込みました。

今後も21日から25日頃まで寒さが続き、26日から再び寒波が襲来してくるようです。
大きな地震の可能性が生じてくるのは、次の寒波の襲来後の28日～31日頃になるのではないかと
思っています。

現在のところ、東海地域には目立った現象は生じていないようですが、
今後も大きな前兆雲の発生には、注意してゆきたいと思っています。

台風26号からの弧状の雲が、11月24日7時頃から9時半頃までの2時間半ほどの間、
東海地方を流れましたが、大きなインパクトは与えなかったようです。



